

社会の
今が
わかる

池田和夫

— 役になった投書に愛をこめて —

はしがき

一九七七年、二六歳の時から新聞、雑誌などに投書するようになり、一三五項目中、投書したものは七九に及ぶ。没になった投書も愛をこめて四〇ほど復活させた。本書の内容は学生時代に書いた詩から覚書、高校の離任式での挨拶や厚生労働省のモニター報告など多岐にわたる。ジャンル別に大まかに学生時代、自然、健康、教育、社会、経済、政治、国際事情の八分野に分けたが、必ずしも正確に分けたわけではないので区分けに疑問を持つ人もいると思うが、ご容赦願いたい。

投書は必ずしもそのままの形で載せているとは限らず、加筆、訂正したものもある。本書を読んで新たな発見、生きるヒント、社会を視る眼を養っていただければ幸いです。

出版にあたって、青山ライフ出版の高橋範夫社長と編集部の宮崎克子さんにお世話になり、感謝します。

二〇一八年二月二〇日

池田和夫

凡例

年号は西暦を使用しているが、元号でないとわかりにくいという人もいると思う。西暦一九七七年を昭和に換算するには、一九二五を引いて昭和五二年になる。二〇一七年を平成に換算するには一九八八を引いて平成二九年になる。逆に明治元年なら一八六七をたせば一八六八年、大正元年なら一九一一をたせば一九二二年になる。